

第1部 13:40～14:50

基調講演「つながり続けること」を目的とした支援

プログラム



奥田 知志（おくだ ともし）NPO法人抱樸理事長 （東八幡キリスト教会牧師）

滋賀県出身

1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。同時に、学生時代から大阪釜ヶ崎で始めた「ホームレス支援」に北九州でも参加。事務局長等を経て、北九州ホームレス支援機構（現 抱樸）の理事長に就任。これまでに3640人（2021年3月現在）以上のホームレスの人々の自立を支援。

その他、共生地域創造財団代表理事、全国生活困窮者支援ネットワーク代表理事、一般社団法人日本伴走型支援協会共同代表などを務め、活動範囲の幅を広げ活躍中。

第2部 15:00～16:30

パネルディスカッション「伴走という支援のかたち」

パネリスト



原田 正樹（はらだ まさき）日本福祉大学 社会福祉学部 教授（社会福祉学博士、社会福祉士）

長野県出身

明治学院大学卒業後、重度身体障害者療護施設、特別養護老人ホームで勤務の後、横浜国際福祉専門学校、日本社会事業大学、東京国際大学を経て、現職。

全国生活困窮者支援ネットワーク理事、全国社会福祉協議会・ボランティア市民活動振興センター運営委員、中央共同募基金会企画・推進委員会副委員長のほか、厚労省法務省、文科省などの委員を務め、地域共生社会の実現に向け活躍中。



大塚 茜（おおつか あかね）一般社団法人なごみ 代表理事（浄土真宗本願寺派僧侶）

佐賀県出身

2009年認可外保育園を立ち上げ。

2011年、東日本大震災の発災後、復興活動の担当となり、宮城県石巻市の子育て支援活動と同時に、原発事故からの避難者の相談活動を開始。

2013年9月NPO法人（なごみ）を設立。2020年一般社団法人なごみとして独立し、県外避難者の生活相談のほか、10年間の知見を活かし、地域の困りごとを抱えた方々への支援を展開中。



吉田 昌司（よしだ しょうじ）厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部企画官
（前 生活困窮者自立支援室長）

奈良県出身

2002年（平成14年）厚生労働省入省。

2012年（平成24年）老健局振興課課長補佐時代に、地域包括ケアシステム構築のための介護保険法改正に関わる。地方自治体の方々など関係者と議論を重ね、地域づくりを進めるための新しい総合事業の導入を推進。

2015年（平成27年）4月から岡山県倉敷市へ出向し、新しい総合事業を実施するなど、市の現場で地域づくりを進める。

2019年（令和元年）7月より厚生労働省社会・援護局 地域福祉課生活困窮者自立支援室長・地域共生社会推進室室長。現在は厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部企画官兼財務省主税局総務課兼調査課企画官。

コーディネーター

五石 敬路（ごいし のりみち）大阪市立大学大学院 都市経営研究科 准教授

広島県出身

東京大学大学院経済学部修士課程を修了後、アジア開発銀行研究所、財団法人東京市政調査会を経て、現職。社会政策論。京都自立就労サポートセンター理事、貧困研究会代表。勤務先の研究科は社会人大学院で、昨年度出版した『子ども支援とSDGs』（明石書店）、『大都市制度をめぐる論点と政策検証』（日本評論社）では、多くの修了生の論文を掲載している。



令和3年度 生活困窮者自立支援制度シンポジウム 参加申込書

お名前（ふりがな）

ご所属先名

ご連絡先（必須）

TEL:

E-mail:

〔申込期限〕 令和3年8月2日(月)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

〔お申込み方法〕 必要事項を記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

FAX: 075-682-8939 E-Mail: info@k-p-support.jp